

令和7年度一般会計予算を審査しました。主な事業は以下のとおりです。※予算額は千円未満切り捨て

地域公共交通調査事業

予算額：3196万円

新規

交通空白（不便）の解消に向け、市内の特に中山間地域における新たな移動手段の確保を見据えた導入可能性について調査・検証を行うもの。

質疑のポイント

問 交通空白解消に向けた具体的な事業内容は。

答 ライドシェア等の制度改正がある中で、既存交通との役割分担や交通空白について協議し、広大な面積を有する当市での導入の可能性について調査・検証を行う。

	運用主体	対象
日本版 ライドシェア	タクシー 事業者	アプリデータで特定された、タクシーが不足する地域や時間帯
公共版 ライドシェア	自治体や NPOなど	交通空白地の住民や観光客など

中山間地域介護サービス確保支援事業

予算額：1140万円

新規

山間地域に居住する利用者に対し、訪問介護サービス等を提供した事業者に、その経費の一部を支援する。

質疑のポイント

問 どの地域を対象としているのか。

答 訪問介護については、矢部村全域、星野村全域、上陽町の横山地区、黒木町の大淵地区・串毛地区・笠原地区・木屋地区である。介護報酬で「特別地域」に該当する地域であり、訪問介護事業がない地域としている。



施設型給付・地域型保育給付事業

予算額：23億211万円

八女市の就学前児童が利用する認可保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育事業所等に対し運営費を支払い、保護者の就労等を支援する。

質疑のポイント

問 希望保育所に入所できない児童への対策は。また、市が保育所を設置する予定はないのか。

答 岡山校区において保育所が1施設増加予定。定員を増やす予定の施設もある。東部の保育施設も含めてあり方を検討する。



岡山小学校校舎等整備事業

予算額：2億2615万円

岡山小学校の児童数増加に伴い不足する教室等に対応するため、特別教室（家庭科室等）を増築し、既存校舎の改修を行い普通教室を26室確保するために整備する。

質疑のポイント

問 トイレの改善を求める声があるが。

答 シャワールームを撤去し、洋式トイレを増設する方向で考えている。特別教室増設の際も、トイレを新たに設置する。



有害鳥獣対策事業

予算額：5666万円

市長が捕獲員に委嘱した猟友会員の捕獲協力で、イノシシ、カラス、シカ、アライグマなどの捕獲活動を支援する。また、侵入防止柵等の支援により被害を軽減する。

質疑のポイント

問 捕獲した有害鳥獣の処分に係る負担軽減策についての検討はされているのか。

答 ジビエ肉への処理や一般廃棄物としての処理には様々な課題がある。何らかの付加価値を見い出せないか関係団体と協議・研究を進めている。



生活困窮者フードバンク支援事業

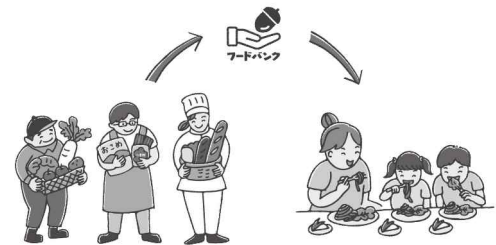
予算額：326万円

生活困窮世帯に対して、食料品及び日用品等の生活物資を支給するため、社会福祉協議会が運営するフードバンク事業に対する支援を行う。

質疑のポイント

問 詳細な内容は。

答 生活物資の支給を希望されている人に支援員が面談を行い、生活環境の改善のアドバイスや福祉制度の案内を行っている。ほっと館やめ及び八女市社会福祉協議会（本所・支所）で支給を行っている。



道路河川愛護活動事業

予算額：2169万円

行政区が自主的に取り組む市道及び市管理河川、水路などの愛護活動に対して1行政区あたり10万円を上限として報償金を交付する。

質疑のポイント

問 市東部では、広範囲に及ぶ道路河川愛護活動は負担が大きく、市は管理者として直営での適切な維持管理を行うべきではないか。また、人員や組織体制の拡充を人事当局に強く要望すべきではないか。

答 道路・河川愛護活動の現状は把握している。市の取組のうち活動報償金の制度は、見直しが必要と考えるが、財源が伴うため慎重に検討したい。また、管理者として管理するには、広大な面積や人的要因から現状では難しく、市長及び財政当局とも協議している。将来的には、管理者で対応できるような体制作りが必要であると考えている。

ひきこもり支援推進事業

予算額：1492万円

八女市社会福祉協議会と連携し、ひきこもりの状態にある本人や家族等を包括的に支援する。支援体制を充実させることにより、社会参加の促進を図る。

質疑のポイント

問 ゆめタウン八女との協働事業の内容は。

答 ほっと館やめで活動していた人が、次のステップの活動をめざすために、ゆめタウン八女の店舗スペースを利用し、地域の人と交流を図ることを目的とする。また、店舗での作業などを体験して、社会との関わりを持つことができるよう支援を行う。



振興山村地域生活支援事業

予算額：1569万円

新規

山間地の条件不利地区に、民間事業者による買物拠点施設の立地を支援する官民連携事業を実施する。これにより、地域住民の生活の利便性の向上を図る。

質疑のポイント

問 どのような支援をするのか。

答 飲料や食品を中心とする小規模な小売店事業者の出店を後押しするため、土地の取得、造成、貸し付けまでを市が行い、建物を建て運営するのは民間事業者の役割とする官民連携事業である。



企業立地推進事業

予算額：1319万円

新規

企業誘致の受け皿となる優良な産業団地を確保するとともに、本市の産業に寄与する企業の誘致を推進する。企業を誘致し、地域経済の活性化、移住定住等を図る。

質疑のポイント

問 産業団地の候補地は決まっているのか。また、候補地の数と敷地面積は。

答 候補地の案は数箇所準備しており、最終的には1カ所に絞りたいと考えている。候補地の案としている場所の面積はいずれも10ヘクタール以上である。



「星空ブランド」推進事業

予算額：175万円

新規

日本で現在4カ所しかない「星空保護区」の認定に向け、星野地区の星空ブランディング等や、大学による光害モニタリング測定地域への啓発講座を実施する。関係人口の増加・地域経済の活性化を図る。

質疑のポイント

問 星野地区とした理由は。

答 星野地区は、これまで星を資源とする地域活性化を図っており、この事業がさらに後押しするものと考え選定している。認定には、地域住民が星空を大切にするという意識や行動も判断基準になるため、地域全体の盛り上がりや気運を高めていく必要があると考えている。



クラインガルテン事業

予算額：1567万円

新規

宿泊機能付き農園の整備により、都市と八女市内の農村との二地域居住を推進し、八女市における関係人口・半定住人口の増加を図り、将来的な移住のきっかけづくりを行うための計画を策定するもの。

質疑のポイント

問 二地域居住の受皿はあるのか。

答 二地域居住をテーマにしているものが、クラインガルテン事業の他に保育園留学事業がある。都市部のニーズに加えて、滞在に係る資源などは事前に調査している。

クラインガルテンとは？

ドイツ発祥で建物付き農地の賃借制度のこと。田舎暮らしや農業をしたい人が、専用の家屋で短期滞在をしながら、プチ田舎暮らしを楽しめる。

